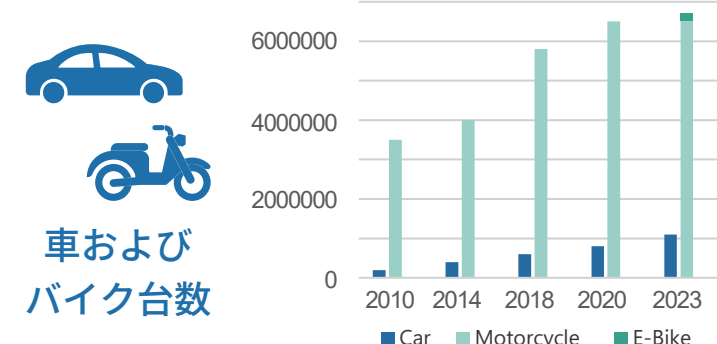
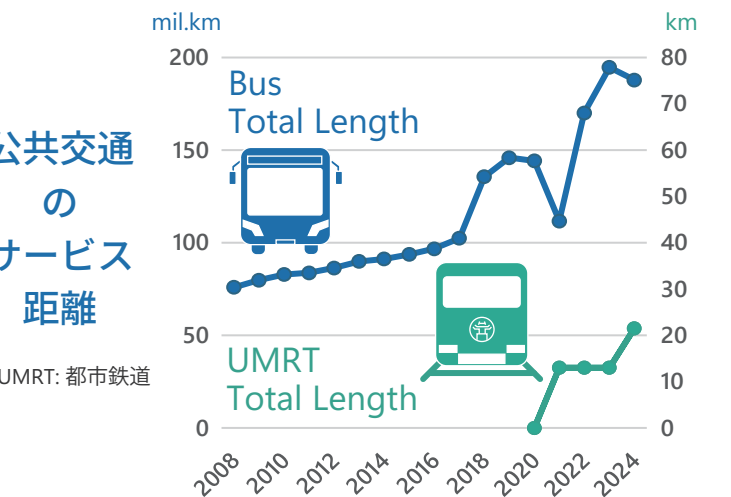
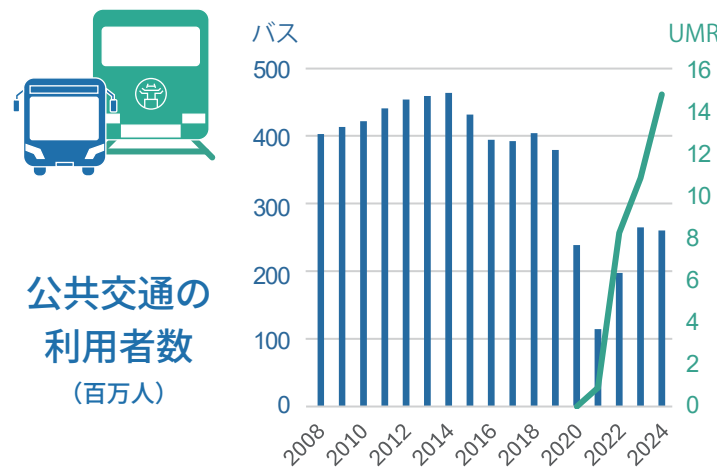
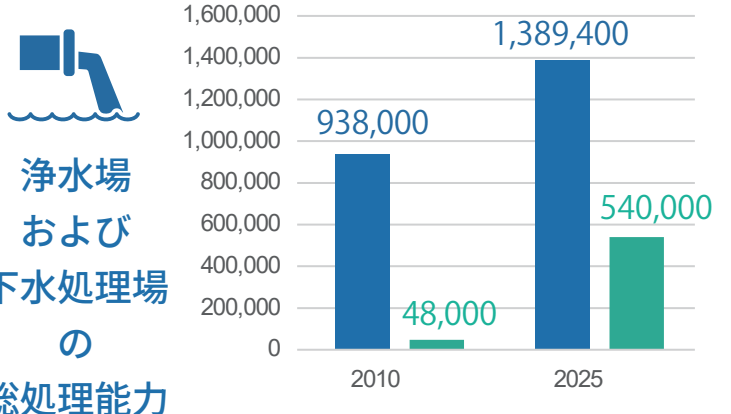
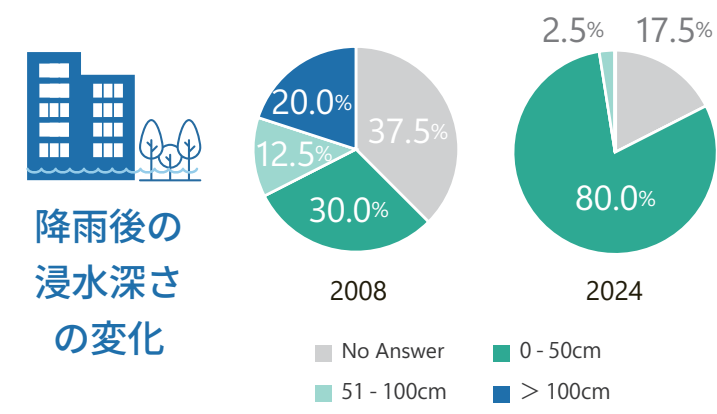
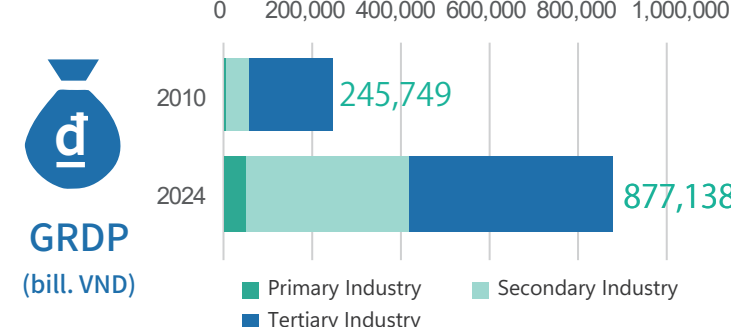
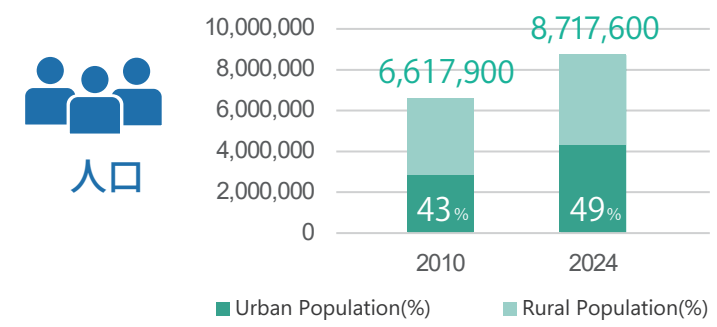


HAIDEP 後のハノイの変化



日本の ODA 事業

HAIDEP の提案にもとづき、様々な事業が実施されてきました。その中で、特に、都市交通と水分野は JICA の支援が大きな成果を上げています。

ハノイ市総合都市開発計画調査 (HAIDEP)
都市計画策定・管理能力向上プロジェクト
ホアラク科学技術都市振興事業

【上水道関連プロジェクト】
水汚染耐性のある水供給システムの構築

【下水・排水関連プロジェクト】
エンサ下水処理場整備事業
下水道計画・実施能力強化支援技術協力プロジェクト
都市排水及び汚水処理の法的枠組み及び管理の構築に係る能力強化プロジェクト
ハノイ水環境改善事業 (第 1・2 期)
ハノイ市インフラ整備事業

【道路関連プロジェクト】
ハノイ市交通網整備事業
国道 1 号線橋梁復旧事業第 3 期
国道 3 号線道路ネットワーク整備事業 (1)(2)
紅河橋建設事業 (1)(2)(3)(4)
ニャットン橋 (日越友好橋) 建設事業 / 空港-ニャットン橋間連絡道路建設事業
ノイバイ国際空港第二旅客ターミナル建設事業 / 空港運営・維持管理計画策定支援プロジェクト
ハノイ市環状三号線整備事業 / ハノイ市環状三号線整備事業 (マイジック-タンロン間)
ハノイ首都圏高速道路交通管制システム整備計画
ハノイ交通安全人材育成プロジェクト
北部国道交通安全強化事業
交通警察官研修強化プロジェクト

【公共交通関連プロジェクト】
ハノイ公共交通改善プロジェクト
ハノイ公共交通 IC カード相互利用開発支援プロジェクト
ハノイ都市鉄道建設事業 (ゴックホイ車両基地)
ハノイ市都市鉄道建設事業 (ナムタンロン-チャンフンダオ間 (2 号線))
ハノイ市都市鉄道規制機関強化および運営組織設立支援プロジェクト

有償資金協力・無償資金協力
JICA 技術協力



独立行政法人 国際協力機構 (JICA) ベトナム事務所
住所; 11F, CornerStone Building, 16 Phan Chu Trinh Street, Cua Nam Ward, Hanoi City Vietnam
Tel: +84(24)3831-5005~8
<https://www.jica.go.jp/vietnam>

発行: 2025 年 11 月



Building a Better Hanoi

HAIDEP 後の 20 年間の軌跡

ハノイ市総合都市開発計画調査 (HAIDEP)



イントロダクション

2000 年代初め、ハノイは急速な都市化の波に直面していました。人口の増加や経済の成長に伴い、交通渋滞や交通事故の増加、住環境の悪化など、都市の暮らしに影響を及ぼす課題が次々と表面化していました。こうした状況を受け、ハノイの持続可能な発展をめざして実施されたのが、日本の国際協力機構 (JICA) の技術協力による「ハノイ市総合都市開発計画調査 (HAIDEP)」です。本調査は 2007 年に公表され、都市開発に必要な地理情報や統計データの分析、家庭訪問調査を通じた現状把握に加え、市民参加や関係機関との協議、調査成果の公開など、透明性と合意形成を

重視した新しいアプローチを導入しました。HAIDEP は、経済・社会、交通、水環境や住環境といった幅広い分野を対象に、ハノイの未来像を描いた包括的な都市開発計画です。その考え方や成果は 20 年近く経った現在でもベトナム関係者から高く評価され、都市計画や交通・上下水道の整備に大きな影響を与え続けています。実際に、HAIDEP が示したビジョンやインフラ整備の方向性は、その後の技術協力や円借款事業、さらにはハノイ市独自の予算を通じて次々に実現されてきました。

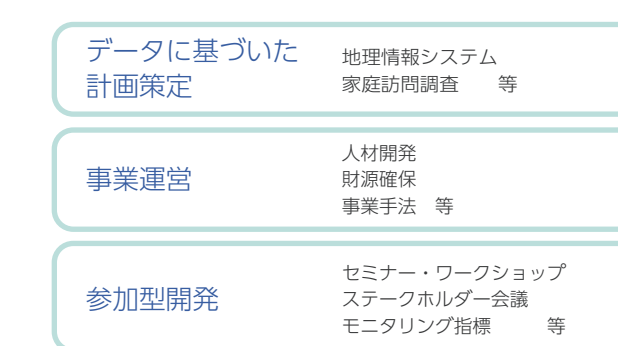
HAIDEP の提案

ビジョンと目標: 水・緑・文化の魅力ある都市

サブセクタープログラム



計画の実施・運営・管理プログラム



戦略的プログラム

ハノイ市が取り組むべきプログラムを提示



様々な法律や計画への反映



政府関係者の声

- HAIDEP で提示された「水・緑・文化」を核とする持続可能な都市ビジョンは、ハノイの都市計画において極めて重要な理念となり、以降の政策に一貫して反映されています。
- HAIDEP は、都市、交通、水環境、住環境を一体的に捉えた初めての計画として評価されており、その計画技術はベトナムの都市計画行政にも影響を与えました。
- 道路や都市鉄道ネットワーク計画は、修正を加えつつも、現在も活用されています。
- 上下水・排水・洪水・湖沼管理を一体的に扱った点は、後続のマスタープランの基礎となりました。

開発の変遷

都市域の拡大のはじまり

HAIDEP 調査が実施された 2000 年代は、人口の過密化による都市問題が発生していました。中心部の人口が飽和状態となり、新たな人口増加は、環状 2 号線から 3 号線の間に位置する Cau Giay、Tay Ho を中心に都市周辺部へと都市の拡大が進んでいきました。

HAIDEP の都市構想

HAIDEP では、ハノイ市の経済成長に伴う将来の人口増加を見据え、無秩序なスプロールや交通混雑の悪化を防ぐために、適切な都市成長管理を提案しました。具体的には、都心周辺部における副都市の形成や、首都圏レベルでの衛星都市の整備と、それを支える都市鉄道ネットワークの整備・水環境の改善です。この提案を実現するために必要なプロジェクトがマスタープランとして提案されています。

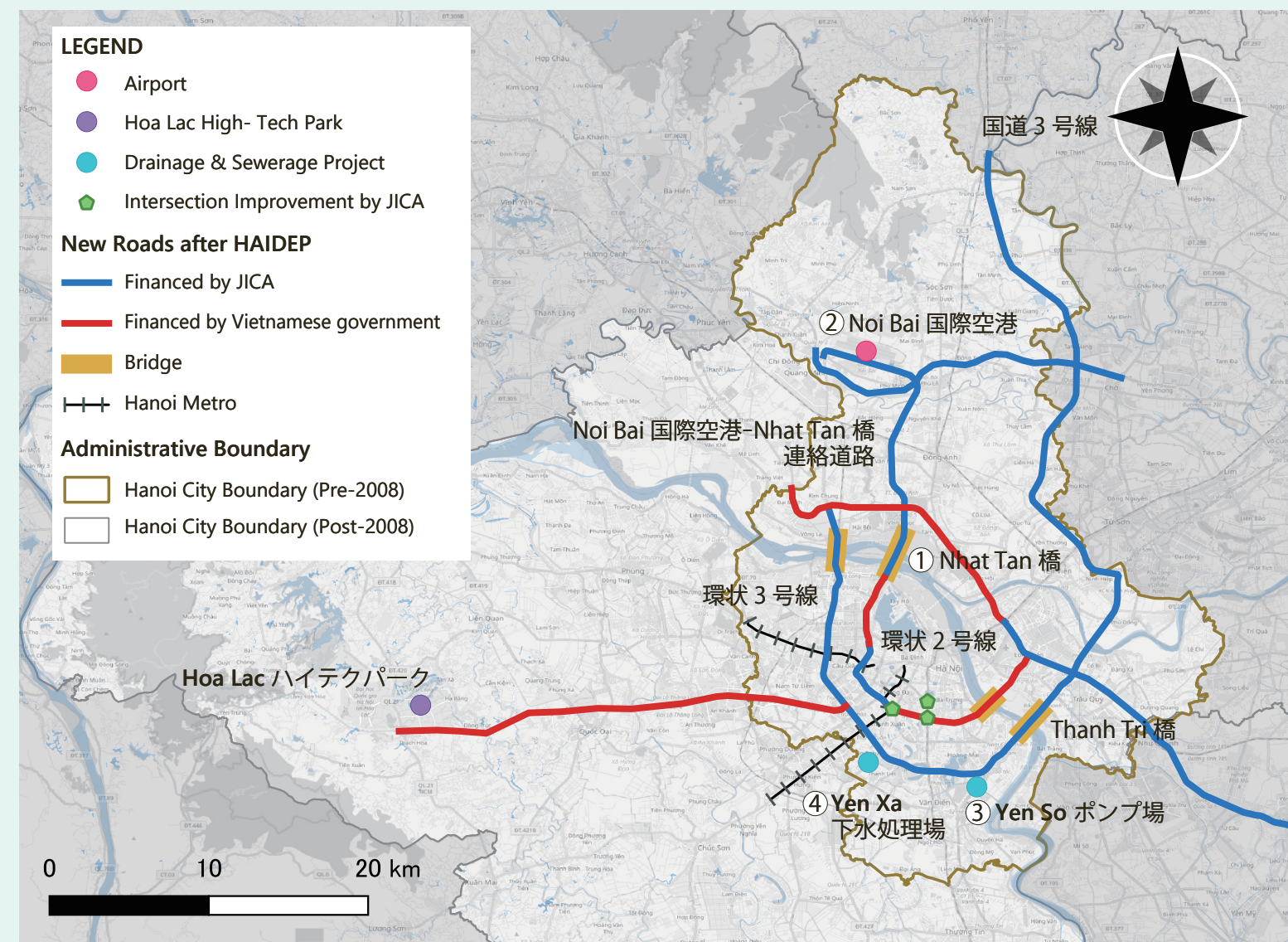
ハノイ市行政域の拡大

2008 年にハノイの市域が南西方向に拡大され、環状 3 号線の整備が進んだことから、新都市開発事業が環状 3 号線の外側、Tu Liem、Hoang Mai、Ha Dong へと加速していきました。近年はさらに西側へと都市開発が広がっています。紅河を超えた地域については、Thanh Tri 橋や Nhat Tan 橋、Vinh Tuy 橋が完成し、地域幹線道路沿いに都市開発が進んでいきます。

都市機能の再配置に向けた課題

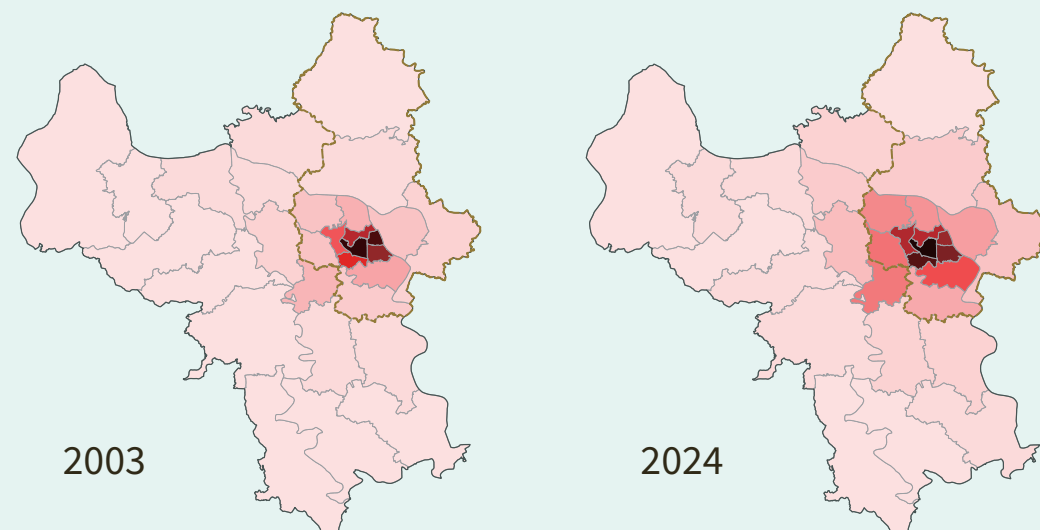
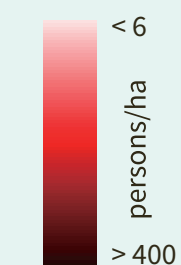
ハノイの都市域は拡大を続けてきていますが、その多くは住宅地が中心であり、業務や商業といった都市機能は依然としてハノイの中心部に集中しています。このような一極集中の都市構造は、ピーク時の深刻な交通渋滞とそれに伴う大気汚染をもたらしています。HAIDEP が目指したようなバランスの取れた都市構造の実現に向け、今後は、都市鉄道整備の推進と一体的な都市整備の推進が求められています。

HAIDEP 後の主なインフラ整備



人口密度の変化

Population Density



交通ネットワーク整備



道路ネットワーク



公共交通



交通安全

HAIDEP の提案をもとに、JICA の支援により空港アクセス道路、Nhat Tan 橋、環状道路 3 号線などが整備されました。これにより、道路ネットワークのミッシングリンクが解消され、交通容量と利便性が向上しました。

HAIDEP の提案を受け、日本を含む国際支援のもとで UMRТ の整備が段階的に進められています。JICA はバス運行や管理改善の技術協力を通じて、公共交通サービスの拡充に貢献しています。

HAIDEP 以降、JICA は交通安全施設の改善、取締り能力の強化、教育支援を通じて、交通安全に総合的に取り組んできました。これにより市民の交通安全意識が高まり、交通事故件数は過去 10 年で半減しています。

水環境整備



上水道の改善



排水・湖沼管理の強化



下水道整備と処理能力の向上

2024 年までに市中心部の上水道普及率はほぼ 100%に達し、水源は地下水から河川水へと転換が進みました。これにより、地下水の保全にもつながっています。

HAIDEP にもとづき複数の下水処理施設が整備され、湖沼の浄化や河川改修が進められました。JICA の支援で Yen So ポンプ場を整備したことにより、15m³/秒の自然流下による排水から、90m³/秒のポンプ排水へと大幅に強化され、ハノイ中心部で頻発していた浸水被害の大幅な軽減につながっています。

JICA の支援により Yen Xa 下水処理場が整備されました。これにより、市全体の下水処理能力は約 2 倍に増加し、中心部では衛生的で安全な都市環境が実現しています。

ハノイの開発がもたらしたもの

公共交通を中心とした都市・社会の形成

「公共交通を中心とした都市・社会の形成」は、HAIDEP の目標として掲げられていました。HAIDEP で提案した鉄道ネットワークは徐々に整備が進んでおり、バスネットワークも拡充されました。TOD (公共交通指向型開発) の推進は大きな開発課題と認識され、今後、都市鉄道整備と合わせた都市開発が進むことが期待されます。



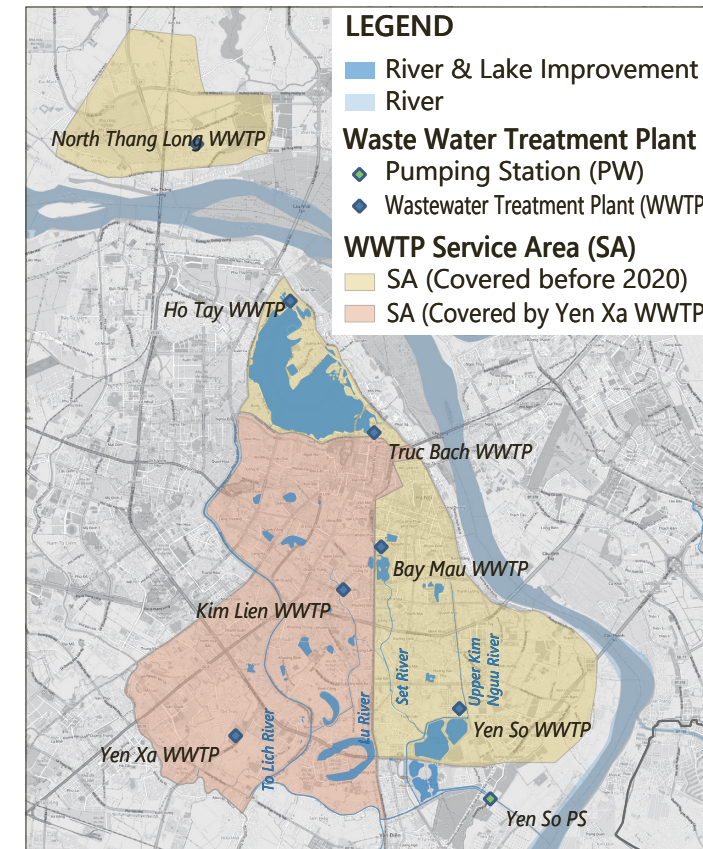
Ring Road 3

道路・公共交通利用者の声

- ・ 以前は、大幅な迂回を強いられたり、狭隘な生活道路や舗装状態の悪い道路を走行せざるを得なかったが、道路整備が進んだことで、移動時間の信頼性や快適性、安全性が向上した。
- ・ UMRТ (都市鉄道) の導入により、移動時間が短くなり、移動が快適になった。
- ・ バスや UMRТ の導入により、移動の安全性が向上した。
- ・ BRT (バス高速輸送システム) から他の交通手段への乗換えに時間がかかる。既存の公共交通機関同士の乗り継ぎの利便性向上が今後の課題。



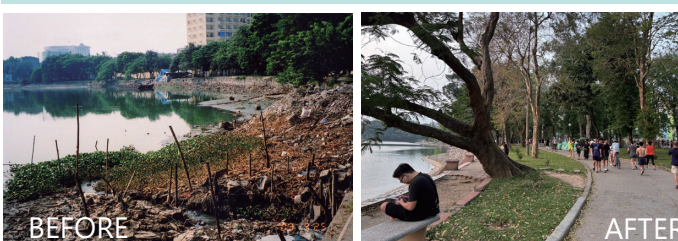
水環境と住環境の改善



下水処理場・ポンプ場と事業実施エリア

湖近隣住民の声

- ・ 水路が覆われて道路となり、アクセスが良くなり、悪臭も改善された。
- ・ 以前は、大雨が降ると洪水が発生していたが、プロジェクトが実施され、洪水の頻度や被害が軽減された。
- ・ 湖沼周辺の治安が向上し、周辺での住宅開発が進んだ。
- ・ 湖周辺がきれいになって、人々の憩いの場として一層活用されるようになった。



湖沼管理によって公園化した湖周辺

未来のハノイに向けて

HAIDEP 策定以降、ハノイは経済成長を遂げましたが、都心集中や公共交通の不便さ、大気汚染や浸水リスクといった課題は依然残っています。水と緑、文化を守りながら国際競争力を高め、暮らしやすい都市を実現するため、行政・民間・市民が連携し、計画の実施を着実に進めていくことが求められます。

環境と調和し誰もが暮らしやすいハノイ

都市構造の再編

- ・ 衛星都市の整備
- ・ 新たな都市計画の策定
- ・ 地域交通ネットワークの形成

交通改善

- ・ 都市鉄道整備
- ・ バス路線の拡充
- ・ 都市鉄道との一体的な都市開発の推進

環境・水改善

- ・ 排水施設の拡充
- ・ 下水道接続率の向上
- ・ 緑地や水辺の保全

ガバナンス強化

- ・ データ共有システムの構築
- ・ 民間連携の強化
- ・ 政府組織再編をふまえた役割分担の明確化

